

Kenko

多機能防災ラジオ

KR-020AWFSE

取扱説明書

Ver.1.0

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書と保証規定をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、お読みになった後はいつでも見られる所に大切に保管してください。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方が書かれています。
本書をよくお読みの上、製品を正しく安全にお使いください。本製品をご使用中に生じたいかなる二次的損害についても補償いたしかねます。

【本体について】

はじめに ご使用前にお読みください

- 大切な場で使用する場合は必ず事前に試聴してください。
- 本製品の使用および故障により生じた直接・間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 本取扱説明書の図、写真の画面などは説明のために作成したものです。あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複写することは、個人で楽しめる場合を除き禁止されています。
- 製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。
- 本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。

⚠ 安全上の注意 必ずお読みください

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

	危険	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。
	警告	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性または、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

⚠ 危険

- 可燃ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
- 本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工および、火中投入などは行わないでください。発熱、発火、破裂の危険があります。
- 本製品を高温の場所（真夏の車内、暖房器具のそばなど）で使用、保管しないでください。

⚠ 警告

- 本製品を自転車やバイク、自動車を運転中に絶対使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。
- 本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。
- 本製品に何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。
- 感電の恐れがありますので、濡れた手で本製品を触らないでください。
- 本製品の分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご相談ください。
- 本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因になります。
- 小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲にラジオを放置しないでください。
- ポリ袋（包装用）などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。口にあって窒息の原因になることがあります。

⚠ 注意

- 本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 火の近く
 - 湿ったところ
 - 振動の激しい場所
 - 温度・湿度の変化が激しい場所
- 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば
- 車内は、湿度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので使用および保管は避けてください。
- 本製品を落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。
- 本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。
- 本製品を振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。

その他のご注意

- 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。
- 山間部、高い建物が立ち並ぶところ、建物の内部等では、電波が弱まります。
- 本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くには置かないでください。
- 携帯電話と本機を近づけると雑音の原因となりますので、離してお使いください。
- 故障防止のために、以下のことは避けてください。
 - 強い衝撃や落下
 - 風呂場などの湿気の多いところや、倉庫などほこりの多いところでの使用時
- 大音量で長時間聞かないでください。聴力に悪い影響を与えることがあります。特にイヤホン使用時等はご注意ください。
- 室内でラジオを聴く場合はできるだけ窓のそばで他の家電製品から離してお使いください。
- 使用環境および電池により動作時間が減少します。

【携帯電話（スマートフォンを含む）への充電について】

⚠ 警告

- 携帯電話の機種によっては充電できないものがあります。また充電端子の形状、状態によっては接続が不十分になる場合があります。
- 本製品の充電機能は、携帯電話の臨時用簡易充電器です。通常の携帯電話充電器としては、ご使用にならないで下さい。
- 携帯電話各機種の純正品以外での充電は、各製品における保証対象外となります。ご自身の責任においてご使用ください。
- 携帯電話の充電をする前に必ず、携帯電話の電池パックがきちんと装着されているか確認してください。完全に装着されていない状態で充電すると、携帯電話が破損するおそれがあります。
- 充電中に煙が出た、充電器本体及び携帯電話が非常に熱くなったなど異常を感じた場合は直ちに使用を中止してください。

【保証期間】ご購入日より1年	保証規定	【お願い】修理に関しましては修理箇所、内容を明確にご指示ください。
(1) 修理の際は必ずお買い上げ店舗のレシートを添付のうえ、ご購入店またはケンコー・トキナーお客様相談室までお申し付けください。 (2) 修理箇所は明確にご指摘ください。 (3) お買い上げ店舗のレシートの添付なき場合は有料修理となります。 正常な取り扱い中に故障を生じた場合以外は有料修理となります。(下記①～⑨など) ①取扱いの乱用、使用法の誤りによる故障 ②保存上の不備のため湿度などによって生じた故障 ③火災や浸水・天災によって生じた故障 ④当社以外の場所にての修理改造・分解による故障 ⑤その他類似的起因による故障 ⑥消耗品(充電池等)のお取り替え ⑦落下・衝撃・砂・泥かぶり・冠水・浸水などによる故障 ⑧個人売買およびオークションなどでご購入の場合 (4)ご購入年月日・ご購入店名のなきものは無効です。 (5)レシートは大切に保管してください。 (6)修理品に送料、交通費等が掛った場合はお客様にてご負担願います。 (7)当社製品を使用して付随製品が故障した際の保証は致しません。 (8)出張による点検・修理・取扱説明・設定等には無償有償を問わず対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。 (9)本保証は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan. (10)本保証は保証規定により無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。		

■ 個人情報について

- ※修理を通じてお客様からご提供いただいた個人情報を修理完了後、速やかに廃棄いたします。
- ※ご協力いただきました記入事項につきましては、ご提供いただきました個人情報のうち、年齢・性別等個人を識別、あるいは特定できない情報と関連付け、統計的データに加工して利用する場合があります。
- ※当社は、お客様の個人情報を第三者へ開示いたしません。但し、以下の場合を除きます。
- お客様の承諾を得た場合。
- お客様の明示した利用目的の達成に必要な範囲内において、業務委託先に個人情報を開示する場合。但し、この場合に当社は、法令上、個人情報の安全管理が図られるよう、当該業務委託先に対して必要かつ適切な監督義務を負います。

△ 注意

- 本製品での満充電はできません。あくまでも緊急用の一時使用のためのものです。充電後の携帯電話の使用可能時間は充電時間や機種によって異なります。
- 携帯電話の電池パックが古い場合や、故障している場合は充電できません。
- 充電中は携帯電話をなるべく使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、携帯電話と充電器の接続部分に負荷がかからないようご注意ください。
- 本製品をご使用の前には、携帯電話に登録した各種メモリーの控えを必ずとってください。また、携帯電話は本製品の使用に関わらず、何らかの原因により電話帳や登録情報などのメモリーが突然消失してしまう危険性があります。万一、ご使用後にメモリー等が消失した場合でも当社は責任を負いかねます。また、本製品の使用中に生じたいかなる二次的な損害についても一切補償はいたしかねます。
- 携帯電話への充電中、本体が多少熱を持ちますが、異常ではありません。ただし極端に熱くなった場合は使用を中止してください。
- 充電が終わりましたら、携帯電話からケーブルをはずしてください。
- 本製品を使用しない場合でも3ヶ月に1度は本体の内蔵バッテリーに充電をしてください。長期間充電をしないと、充電機能が衰えることがあります。
- ハンドルを回す時には、手、指、爪などを傷つけないよう注意してください。
- 充電器に強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- まれに携帯電話の機種によって、充電中に「故障中」と画面表示が出るものや、充電が出来ないものがあります。このような場合には、携帯電話の販売店にお問合せください。

【乾電池について】

- 新しい乾電池と使用した乾電池を混用で使用しないでください。使い切った乾電池はすぐにラジオから取り出してください。
- 異なる種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池をラジオの中にいれたまま長期間ラジオを使用しない場合でも、乾電池が消耗します。ラジオを長期間使用しないとき（およそ1ヶ月以上）は乾電池を取り出してください。
- ショート、分解、加熱、充電（＋）、（－）の逆方向にセットをしないでください。使用済みの乾電池を火に入れるなどしないでください。
- 乾電池は乳幼児の手の届かない所に置き、乾電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。乾電池のアルカリ液がもれて、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。
- 乾電池は炎天下の自動車の車内など高温になる場所に放置しないでください。液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 傷ついたり変形した乾電池は使わないでください。
- 使い切った乾電池はすぐに取り出してください。使用済みの乾電池は、お住まいの自治体が定めた方法で処分してください。

【リチウムイオン充電電池について】

- ①初回使用時はフル充電してください。
- ②液漏れ等の異常が発見された場合、ただちに使用を中止して、お買い上げ先等にお申し出ください。
電解液が、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。
- ③リサイクルのお願い



不要になった電池は貴重な資源を守るために廃棄しないで充電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion00

〈最寄りのリサイクル協力店へ〉

詳細は、社団法人 電池工業会ホームページをご参照ください。

・ホームページ <https://www.baj.or.jp/>

フル充電時間の目安（※下記充電時間を目安に充電を終了してください。）

機能 / 電源	乾電池 単4形アルカリ電池 ×3本	内蔵バッテリー	
		USB 充電	手回し充電
本体(内蔵バッテリー)への充電	(※1) ×	約2時間	(※2) △

- (※1) 乾電池では内蔵充電電池に充電できません。
- (※2) 手回し充電では内蔵バッテリーにフル充電できません。
ただし、ラジオ／LEDライト／サイレンを最低限使用できるだけの充電は可能。

ご使用時間の目安

機能 / 電源	乾電池 単4形アルカリ電池 ×3本		内蔵バッテリー			
			USB 充電		手回し充電 (※3)	
	スピーカー	イヤホン (別売)	スピーカー	イヤホン (別売)	スピーカー	イヤホン (別売)
ラジオ	約11.5時間	約28時間	約13.5時間	約29時間	約20分間	約42分間

機能 / 電源	乾電池 単4形アルカリ電池 ×3本	内蔵バッテリー	
		USB 充電	手回し充電 (※3)
LEDライト	約34時間	約18時間	約3.5時間
サイレン	約6時間	約6時間	約20分間
携帯電話充電	×	(※4) 充電率の約10%の上昇	×

(※3) 1秒間に2回転の速度で約3分間充電した場合。

(※4) 例：携帯電話 / スマートフォンの充電状態が50%のとき、約60%に上昇。(機種、使用年数による。)

主な仕様

受信周波数	FM:76-108MHz AM:530-1600kHz	出力電圧	5V
スピーカー	Φ50mm/8Ω/0.5W	出力電流	Max 1A
出力端子	イヤホン端子:Φ3.5mmモノラル USB端子:USB Type Aポート	最大出力	イヤホン :7mW スピーカー:0.8W
入力端子	USB端子:USB Type Cポート	動作温度	0～40℃
ダイナモ	あり	寸法	133(W)×51(D)×63(H)mm
LED	280 Lumen	質量	約215g(乾電池含まず)
内蔵電池容量	1200mAh 3.7V	同梱品	ラジオ本体、ストラップ、 USBケーブル(Type-A to Type-C)、取扱説明書
乾電池	単4形アルカリ乾電池×3本(別売)		
入力電圧	5V		
入力電流	Max 880mA		

※USB充電器は、別売:Type-A出力、1ポートDC5V 2A以下のものを使用してください。

製品に関するお問い合わせ

お客様お問合せフォームはこちらのQRコードから。
パソコンからは、「ケンコー・トキナーお問い合わせ」で検索。

ケンコー・トキナーお客様相談室

フリーコール(無料) ※海外からおよびIP電話では接続できません

0120-775-818

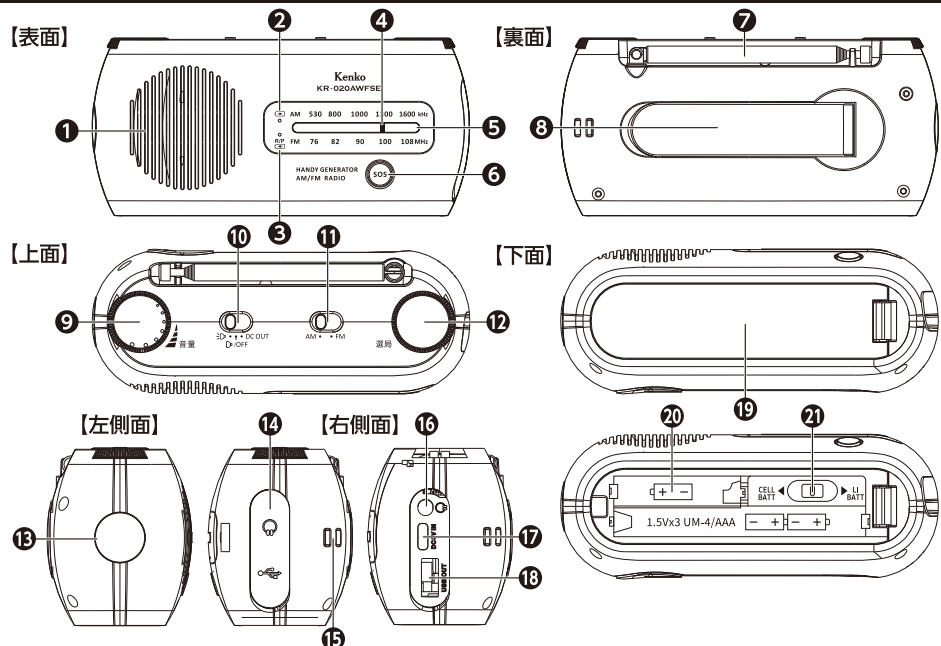
【携帯電話・IP電話】03-6840-3389 (有料)

●受付時間 9:15～17:30 (土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季休業等を除く)

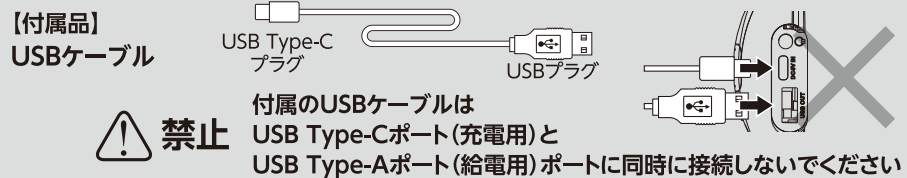
※本ダイヤルでの通話は、対応品質向上のため録音させていただきます。

製品について詳しくはコチラ

各部の名称 (本文中の丸数字は各部名称の番号)



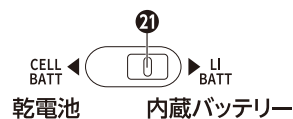
- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| ① スピーカー | ⑪ AM/FM切替スイッチ |
| ② LEDインジケータ (充電時) | ⑫ ラジオ選局ダイヤル |
| ③ LEDインジケータ (ラジオオン/DC OUT時) | ⑬ LEDライト |
| ④ 選局スケール | ⑭ コネクタ保護カバー |
| ⑤ 選局目盛り | ⑮ ストラップ穴 |
| ⑥ サイレンボタン | ⑯ イヤホンジャック |
| ⑦ ロッドアンテナ | ⑰ USB Type-Cポート (充電用) |
| ⑧ 手回し充電ハンドル | ⑱ USB Type-Aポート (給電用) |
| ⑨ ラジオ電源/音量ダイヤル | ⑲ 乾電池室／電源切替スイッチ室カバー |
| ⑩ モード切替スイッチ | ⑳ 乾電池室 |
| | ㉑ 電源切替スイッチ |



電源について

乾電池を使用しない場合は、必ず内蔵バッテリーに充電してから各機能をご利用ください。

電源の切り替えは、電源切替スイッチ㉑で行います。

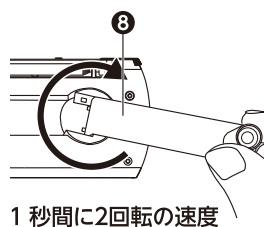


【内蔵バッテリーを使用する場合】

手回し充電

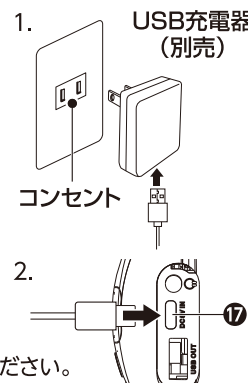
本体をしっかり握り、手回し充電用ハンドルを上 に引き上げて、1秒間に2回転の速度で時計ま わりに回転させてください。充電中はLEDイン ジケータ② (充電時) が緑色に点灯します。速 く回転させても充電時間が短くなる事はありません。無理に力を入れず一定のスピードで回転 させてください。また、回転させる際は、ストラッ プがハンドルに絡まないようご注意ください。

手回しで充電する場合はラジオ、LEDライト、サイレン、携帯充電の機能と同時に はできません。本体に充電してから各機能をご利用ください。



USB充電

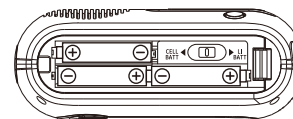
- 付属ケーブルのUSBプラグを、USB充電器 (別売り：Type-A 出力、1 ポート DC5V 2A 以下) のUSBポートに接続してください。
 - もう一方の USB Type-Cプラグを、本体の USB Type-C ポート (充電用) ⑰に接続し てください。充電中はLEDインジケータ ② (充電時) が緑色に点灯します。
 - 充電が完了すると、LEDインジケータ② (充電時) が消灯します。
- ※USBケーブルは付属のもの以外使用しないでください。 Type-C to Type-C ケーブルでは充電できません。



【乾電池を使用する場合】

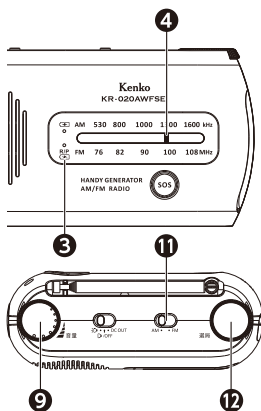
単4乾電池

新品のアルカリ単 4 電池 (3本) を、ご用意 ください。※乾電池は付属していません。 電池を電池ボックス内の刻印に従い、⊕と ⊖を正しい方向にセットしてから電池蓋を 閉めてください。 電池を交換するときは、3本とも同じ種類の 新しい電池と交換してください。違う種類の ものや新しいものと古いものを混ぜて使用 しないでください。



ラジオの使用法

乾電池を使用しない場合は、必ず内蔵バッテリーに充電してから各機能をご利用ください。



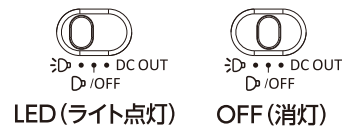
- 電源切替スイッチ㉑ (乾電池 / 内蔵バッテリー) をどちらかに 合わせます。
- AM/FM 切替スイッチ⑪をAMまたはFMに合わせます。
- ラジオ電源 / 音量ダイヤル⑨を回して電源を入れ、音量を 調整してください。電源を入れてから音が出るまで約 2 秒か かりますが異常ではありません。
- 電源を入れるとLEDインジケータ③ (ラジオオン / DC OUT 時) が赤く点灯します。
- ラジオ選局ダイヤル⑫を回して、放送局を選んでください。
- FM放送を聴く場合はアンテナを受信しやすい方向に伸ばし て調節してください。

※ラジオ電源をONにしてもLEDインジケータ③ (ラジオオン / DC OUT 時) が赤く点灯しない 場合は再度本体に充電してください。

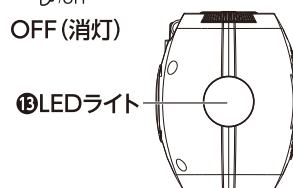
地上を飛び交う電波をうまく拾うには、電波を受信しやすい場所でラジオを聞くことが大切です。 家の中なら、壁のそばよりも窓のそばに移動してみましょう。また、同じ場所でも鉄筋の建物 よりも木造の家のほうが電波は届きやすく、高台にある家と低い場所にある家でも電波の届き 方に違いがあります。

LEDライトの使用法

乾電池を使用しない場合は、必ず内蔵 バッテリーに充電してから各機能をご 利用ください。



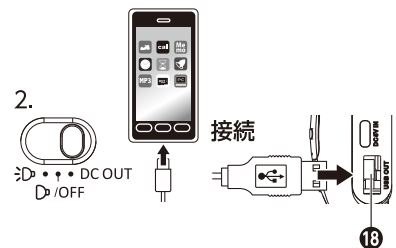
- 電源切替スイッチ㉑をどちらかに合わせます。
 - モード切替スイッチ⑩を「LED (ライト点灯)」に合わせます。
 - LEDライトを消す場合は、OFFに合わせて下さい。
 - ラジオ電源がOFFの時でもLEDライトは点灯します。
- ※LEDにスイッチを合わせても点灯しない場合は再度本体に充電してください。



携帯電話に充電する

電源切替スイッチ㉑を必ず内蔵バッテリーに合わせます。 乾電池から携帯電話への充電はできません。 また、内蔵充電電池にフル充電してから行ってください。

- 付属のUSBケーブルのUSBプラグを、USB Type-Aポート (給電用) ⑱に接続し、Type-Cプラグを 携帯電話に接続してください。
- モード切替スイッチ⑩を DC OUTに合わせると LEDインジケータ③が青く点灯し携帯電話に充 電を始めます。 ※携帯電話への充電時、ラジオは使用できません。



携帯電話 (スマートフォンを含む) の充電をする前に必ずご確認ください。

- ※携帯電話への充電は、あくまで緊急時などの一時的なご利用を 想定して設計されております。通常の充電は純正の充電器をご 使用ください。
- ※携帯電話の電池/パックがきちんと装着されているかどうか確認し てください。外して使用しますと、電話機が破損する恐れがあります。
- ※携帯電話の電源が入らない場合は、充電できないことがありま す。その際は携帯電話付属の充電器をご使用ください。
- ※一部の携帯電話では、充電表示ランプが点かないものがあります。
- ※メールなどデータ通信を行いますと、通常の通話に比べて使用 可能時間が短くなることがあります。
- ※本製品は手回しハンドルを回して直接スマートフォンへの充電は できません。

- ※携帯電話 (スマートフォンを含む) の電池が完全に放電しきった状態や、電池残量がない旨の メッセージやアラーム音でお知らせがあった場合には、本製品では充電できないことがあります。
- ※携帯電話 (スマートフォンを含む) の内蔵バッテリーの状態によっては充電できない場合があります。 携帯電話 (スマートフォンを含む) を充電するために使用する別売USBケーブルは、お使いの携 帯電話に合ったものをお使いください。
- ※万一、本製品の使用により、お使いの携帯電話 (スマートフォンを含む) の故障またはデータの 破損、消失などの障害が生じた場合、当社では責任を置いかねます。



発売元



Kenko Tokina Co., Ltd.

株式会社 ケンコー・トキナー

TOKYO/JAPAN

本 社 〒164-8616 東京都中野区中野5-68-10 KT中野ビル

ケンコー・トキナー ホームページ <https://www.kenko-tokina.co.jp/>